

北部機械金属業界の景況動向

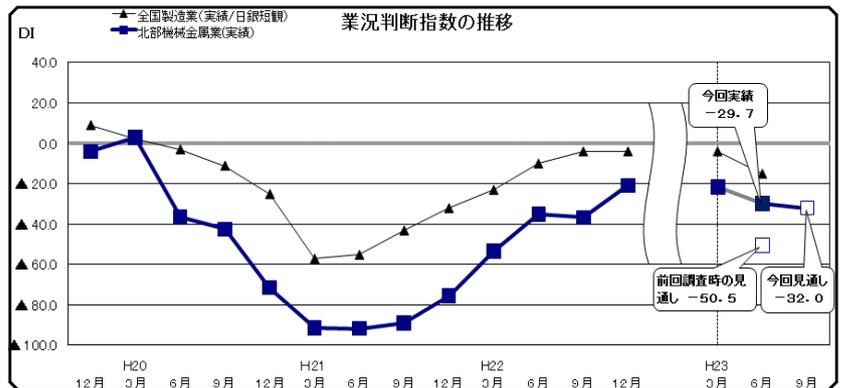
(2011年4～6月実績／2011年7～9月見通し)

- 調査対象：福知山市以北5市2町の機械金属関係企業286社 【調査時点 平成23年6月下旬】
- 回答数：128社（回答率44.8%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:17、舞鶴市:20、綾部市:19、宮津市・与謝郡:16、京丹後市:56
 - ②取扱別 = 一般機械:43、電気機械:15、輸送機械:26、精密機械:29、その他:15
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1～9人:56、10～19人:21、21～49人:32、50～99人:13、100人以上:6
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

－ 調査結果 －

1 景況動向判断

●4～6月実績のDI(業況判断指数)は-29.7となり、前回行った調査(1～3月分。以下「前回」という。)の-21.7より8.0ポイント悪化した。地域別では、宮津市・与謝郡域は-25.0(同-35.7)と10.7ポイント改善したが、福知山市域は-41.1(前回-27.3)と13.8ポイント、舞鶴市域は-30.0(同0.0)と30.0ポイント、綾部市域は-68.4(前回-47.6)と20.8ポイント、京丹後市域は-14.2(前回-9.6)と4.6ポイント悪化した。このように、DIは依然としてすべての地域で0以下の値となっている。北部地域全体の景況感は、前回の見通しより改善しており、3月11日に発生した東日本大震災の影響も、約8割の企業が影響が無かったか改善傾向にあると答えているものの、依然として厳しい状況が続いている。



注：DI＝（非常に良い＋良い）－（非常に悪い＋悪い）

●7～9月見通しのDIは-32.0と、前回の-50.5より18.5ポイント改善した。地域別では、全ての地域で「非常に良い」「良い」とする企業が15%を切っており、宮津市・与謝郡域を除く地域では、「非常に悪い」「悪い」とする企業が3割を超えている。前回より見通しは良いものの、今回実績より2.3ポイント悪化を見込むなど、依然として厳しい見通しになっている。

●7～9月見通しのDIは-32.0と、前回の-50.5より18.5ポイント改善した。地域別では、全ての地域で「非常に良い」「良い」とする企業が15%を切っており、宮津市・与謝郡域を除く地域では、「非常に悪い」「悪い」とする企業が3割を超えている。前回より見通しは良いものの、今回実績より2.3ポイント悪化を見込むなど、依然として厳しい見通しになっている。

2 採算状況

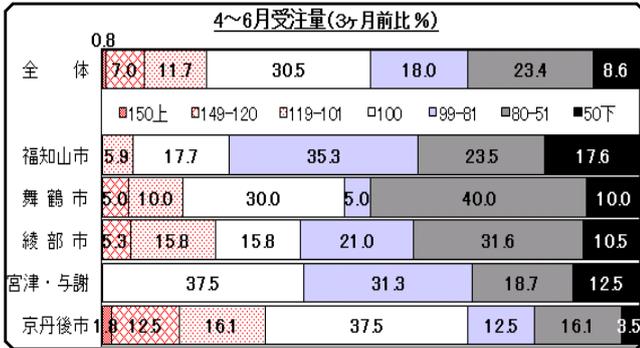
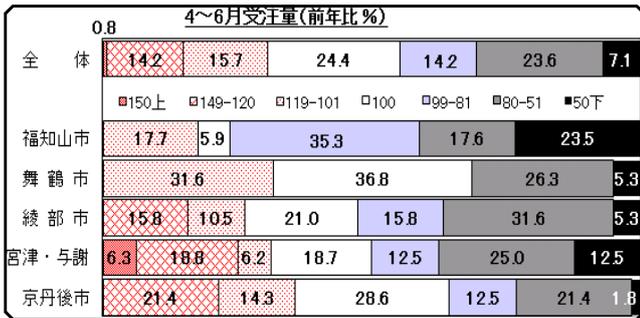
2.3 景況動向判断 4～6月実績				
全体	非常に良い	良い	普通	非常に悪い
102	45.3	32.8	9.4	
福知山市	5.9	47.1	23.5	23.5
舞鶴市	15.0	40.0	40.0	5.0
綾部市	5.3	21.0	68.4	5.3
宮津・与謝		75.0	12.5	12.5
京丹後市	5.4	14.3	46.4	7.1

0.8 景況動向判断 7～9月見通し				
全体	非常に良い	良い	普通	非常に悪い
11.2	44.0	40.0	4.0	
福知山市	11.8	41.1	35.3	11.8
舞鶴市	10.0	25.0	55.0	10.0
綾部市	10.5	42.1	47.4	
宮津・与謝	6.7	66.6	20.0	6.7
京丹後市	9.1	13.0	46.2	38.9

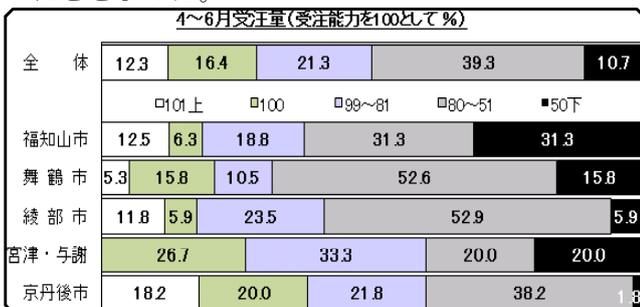
●4～6月の採算状況は、黒字とする企業が16.7%（前回24.4%）、赤字とする企業が30.1%（同20.2%）となり、2期ぶりに赤字企業が黒字企業を上回り、厳しい状況となっている。地域別では、黒字とする企業が、京丹後市域では23.6%であるのに対し、宮津市・与謝郡域では6.2%と、地域によってばらつきがある。また、福知山市域、舞鶴市域及び綾部市域では、赤字とする企業が40%を超えている。

4～6月採算状況			
全体	黒字	赤字	
16.7	53.2	30.1	
福知山市	17.6	41.2	41.2
舞鶴市	10.5	47.4	42.1
綾部市	10.5	47.4	42.1
宮津・与謝	6.2	75.0	18.8
京丹後市	23.6	54.6	21.8

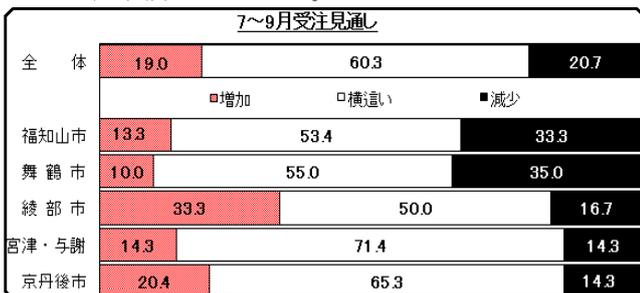
3 受注量



●4~6月受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は55.1%（前回57.7%）とやや減少した。地域別では、舞鶴市域及び京丹後市域では60%以上の企業が対前年同期比100%以上を確保したものの、福知山市域では約20%の企業にとどまった。また、対3ヶ月前比100%以上を確保した企業も50.0%（同58.5%）と減少した。地域別では、京丹後市域では60%以上の企業が対3ヶ月前比100%以上を確保した一方、福知山市域では約20%の企業にとどまった。

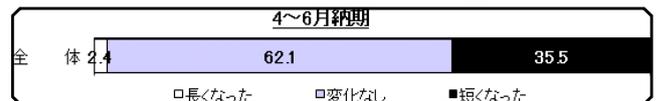
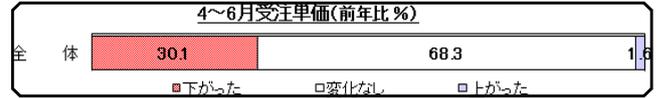


●4~6月受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は28.7%（前回32.2%）と減少した。地域別では、京丹後市域では約40%の企業が100%以上としている一方、福知山市域では30%以上の企業が50%未満としている。



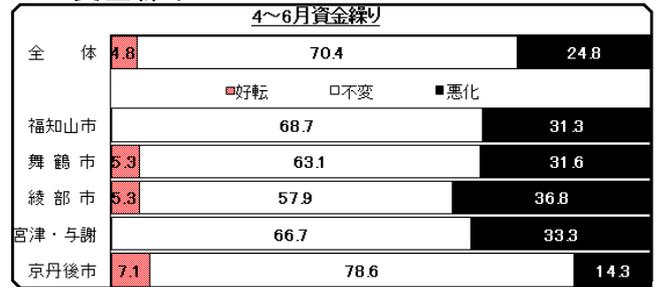
●7~9月受注見通し（左下図）は、増加を見込む企業の割合が19.0%（前回8.0%）と11.0ポイント改善し、減少を見込む企業の割合も20.7%（同35.4%）と14.7ポイント改善した。地域別では、増加を見込む企業が、綾部市で30%を超える一方、舞鶴市域及び福知山市域では減少を見込む企業がいずれも30%を超えるなど、地域によってばらつきがある。

4 受注条件（受注単価／納期）



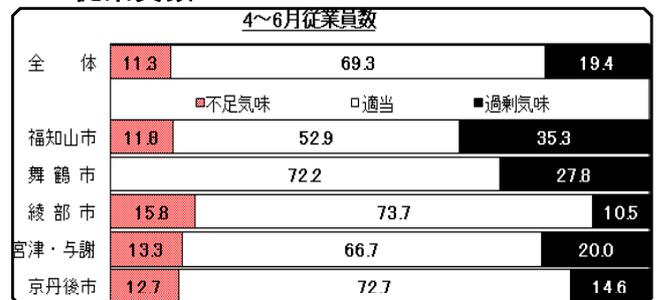
●受注単価が下落したとする企業は30.1%（前回3.4%）、納期が短縮したとする企業は35.5%（同42.3%）となった。受注単価が下がったとする企業が大幅に増えており、受注条件は前回調査では改善したものの、再び厳しくなっている。

5 資金繰り



●資金繰りは、好転とした企業が4.8%（前回7.7%）、悪化とした企業が24.8%（同23.1%）と悪化の傾向にある。地域別では、福知山市域及び宮津市・与謝郡域では好転とした企業は皆無であり、京丹後市域を除く地域では悪化とした企業がいずれも3割を超えた。

6 従業員数



●従業員数は、不足気味が11.3%（前回16.4%）と減少し、過剰気味は19.4%（同20.7%）とほぼ横ばいであった。地域別では、福知山市域では3割を超える企業が過剰気味とした一方、舞鶴市域では不足気味とした企業がなかった。